

こうげい

都立工芸同窓会会報 No.184

2024年（令和6年）10月10日 発行

秋 *Autumn, 2024*

投稿を歓迎します

- ・皆様のお仕事などでの成果、創作、社会貢献など、ご活躍のご様子をぜひお知らせください。
- ・クラス会の様子もお知らせください。

郵送先：都立工芸同窓会

（住所は工芸高等学校と同じで、最終ページにあります。）

またはホームページのお問い合わせよりご投稿ください。



本校同窓生の皆様には、日頃から、本校教育の充実・発展のために、ご理



定時制副校長 佐々木雅人

インターネットを使っている人ならば、誰もが一度はお世話になったことがある、グループがあります。このグループの企業理念に『1つのことをとことん極めてうまくやるのが一番』というものがあります。この企業理念のように最後まであきらめずに努力を続けていく人間を生徒には目指してもらいたいのです。

今後も工芸高校の良き伝統はしっかりと受け継ぎ、生きるための能力・資質が身に付くよう学校として努力を続け、通学することに喜びを感じ、生き生きとした学校の場を実現させていく所存です。

いあいさつ

全日制副校長 千葉政英

初めまして。今年の四月に副校長として着任しました千葉政英と申します。副校長として三校目となります。多摩工科



高校、六郷工科高校に在籍しております。どちらの学校も製造業が盛んな地域で東京版デュアルシステムとして企業と学校が連携し、ものづくり人材育成教育を進めて参りました。今年から工芸高校副校長に着任し、東京都に限らず全国区でデザイン学科のパイロット校、創立百年を超える伝統校に着任できたことを嬉しく思います。今後ともよろしくお願ひします。

学校の様子は、五月に行われた体育祭では、降雨のため延期されての開催となりました。本校の特色ある競技や応援合戦は若い力が燃え上がり感動的でした。六月には朝日新聞の「青春スクロール」で工芸高校が取り上げられました。桂盛

仁様、トミムラコタ様のインタビューや諸先輩方の紹介、代表生徒による学科紹介として実習や授業、スクールライフが紹介され好評の声をいただきました。

夏休みに入り、「都立工科高校2024 ドリームフェスタ」が行われました。工芸高校は実習作品展示と生徒会や学科代表生徒によるワークショップを行いました。缶バッチ制作と似顔絵体験を行い、長蛇の列ができ、来場者から好評をいただきました。

二学期に入り、工芸祭が実施される予定です。ぜひ生徒の成果をご覧いただきたく思います。

伝統ある工芸高校を盛り上げて参りますので、よろしくお願ひします。

解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

私は葛西工科高校から令和4年4月1日に着任いたしました。前任校が全日制だったため生活のリズムが全く変わってしまいました。しかし、今ではネオンの似合う男と自負しています。

工芸高校に着任して3年目になります。最初に驚いたのは全日制・定時制ともに廊下に展示されている生徒作品のクオリティが非常に高く、様々な賞を受賞していることに感銘を受けました。これは同窓生の皆様が、今日まで築き上げてきたものが、受け継がれていて、現在も授業を見学していて上級生が下級生に「巧の技」を伝承しているところが見られます。

つながりに感謝しながら

全日制PTA会長 飯田 望

都立工芸同窓会の皆様、はじめまして。令和6年度全日制PTA会長を仰せつかりました飯田と申します。20歳の長男と3年在学中の長女が工芸高校にご縁をいただき長女も今年度で卒業、一年限りの役目ですがどうぞ宜しくお願い致します。昨年度のフランスコルベール高校との親善交流の際には、温かなご支援を賜り、ありがとうございました。

コロナ禍が明けた令和5年度、工芸高校PTAでは、保護者同士がつながり合う活動が多く行われました。保護者のほか先生方や同窓会の方々とも交流できた「新入会員を迎える会」、科・学年を超えて保護者が集ったおしゃべりサロン「えん」、定時制PTAの方々と連携して行った「工芸祭談話室」「文化講演会」では、活動を通じて多くの保護者同士がつながり学び合うことができました。コロナ禍が明け手探りで行う活動は困難が伴う事もありましたが、「工芸生を支えるつながり」だからこそ、様々な方のご協力のもと遂げることができました。

工芸PTAは本年度もつながりに感謝しながら、また、つながる力を強めながら活動を重ねて参りたいと思います。同窓会の皆様にご協力を仰ぐこともあるかと思いますが、何卒宜しくお願い致します。

ご挨拶

定時制PTA会長 新野 晃朗

2024年度4月より前年度の古里会長より会長職を引き継ぎました新野晃朗（ひの・てるあき）と申します。

改めまして、この度は同窓会機関紙「こうげい」184号の発行を心よりお祝い申し上げます。

これまでの活動で先生方、生徒の皆と接して感じたことがあります。先生方は生徒一人一人の考えに合わせて厳しくも優しい気持ちで最後まで見守る姿が印象的でした。生徒の皆も最後まで諦めず粘り強く成し遂げる姿が感動的でした。一言でいうと「青春ど真ん中」です！

工芸高校定時制はこの「青春ど真ん中」を2024年度も真直ぐ進んでいます。

体育祭では生徒が中心となり学校を盛り立てました。ねぶた造形研究部では企業と取り組み映画PRに全力で努めました。7月はバドミントン部、剣道部が全国大会出場を成し遂げ活躍しました。

私たちPTA活動は、先生方、生徒の皆の情熱を受けて「常に一生懸命」何事もサポートしたいと考えます。この取り組み姿勢が一人一人の居場所を作り、学校の実績となり次の世代につながることを心から願っています。

最後に「常に一生懸命」であり続けることは難しいことかもしれませんが、毎日

一歩ずつ皆の力で進み続けることが伝統になると考えてはいかがでしょうか。

2024年度総会報告

5月18日（土）、母校1階視聴覚室に於いて、都立工芸同窓会2024年度総会が開催されました。

総会に先立ち、武内賢太氏（2012年M科卒）による記念講演、「都立工芸の同級生と起業。日本の伝統と最新技術を組み合わせたものづくり。」が開催されました。



武内 賢太氏講演の様子

講演では、都立工芸マシクラフト科に、第一志望で入学した理由が「工芸高校の中で一番広く様々な領域を学べるからである」と判断した」事に始まり、マシクラフト科同級生である大西藍さんと会社を立ち上げた経緯、独自のデザインブランド「goyemon」のネーミングから商品開発の進め方や製造部門との協力関係などの話。そして何よりも、同期である武内

さんと大西さんとの長い関係の中で「大きなミッションの共有」があればこそ成功したとの話をされました。

総会では以下の議題が上程され全ての議案が拍手にて承認されました。

二〇二四年度総会 次第

二〇二四年五月二八日

一、開会の辞

二、会長挨拶

梶 広幸氏

三、来賓代表挨拶

東京都立工芸高等学校統括校長

杉浦 文俊 先生

四、二〇二三年度活動報告

・会費改定の件

・名簿作成と頒布の件

梶 広幸氏

五、二〇二三年度決算報告

事務局

六、新役員承認

二〇二四年度・二〇二五年度

七、新会長挨拶

藤岡 俊平氏

八、二〇二四年度予算案承認

事務局

九、その他

・「コルベール高校派遣、渡仏寄付報告

十、閉会の辞

総会出席者

- ・学校関連—6名・生徒保護者—3名
- ・同窓会—45名（A科16名、M科6名、F・I科7名、P・G科7名、D科8名）………合計54名
- ＊ご参加された皆様有難う御座いました。

関西工芸会支部だより

関西工芸会の集いの御案内

今年も半年が過ぎ、夏を迎えると私の中では秋の関西工芸会の集いに向けて準備をしなくては！と、まずはお店の選定・予約から始まります。

関西工芸会会員には京都・大阪・神戸、それぞれに住まわれている方がおりますので偏らないように今迄2～3年毎に都市を変えて開催しておりましたが、交通の便とお店迄の行きやすさを鑑みて、本年も昨年と同じ京都のお店で開催する事に決めさせて頂きました。

《第61回 関西工芸会の集い》

2024年11月23日（土）11時30分～14時30分
和食うおまん都ホテル 京都八条店

にて開催致します。

昨年は昭和29年卒の先輩から平成29年卒の後輩まで総勢15名（初参加者5名）と、東京からは都立工芸同窓会梶会長・神山先生・細江元理事が参加してください、総勢18名で開催する事ができました。案内状を9月中には発送させて頂きま

すので今年も沢山の方に参加して頂けま
すと嬉しいですよ。

私事なのですが、職人として勤めてお
ります芦屋のジュエリーブランド『Ginell』
が本年創立50周年を迎え5月に神戸大丸
にて50周年記念展を開催しました。

その際、関西工芸会からも沢山の方が
足を運んで下さり、作品を見て頂きあり
がとうございました！この度の会報が配
られる時には終わっておりますが9月
には銀座和光にて50周年展を開催します。

創立100周年を迎える時には92歳と
なる計算ですが、92歳でも現役のハイジ
ュエリー職人である事が現在の目標です！
関西工芸会事務局 松田健（2001年・A卒）

在校生の「コルベール高校親善訪問」報告
派遣に同行された現在A科教諭であり
同窓生でもある氏家美佐先生（2010年・
A卒）から親善訪問報告をいただきました。



映画研究部は以前よりフランスの高校
と交流があり、リモートで共同制作を
行ってきました。この度同窓会からも御
支援を賜り、おかげさまでもちまして今
年の3月9日（土）～14日（木）に本校生
徒6名の「親善大使」をフランスに派遣し、
コルベール高校とパートナーシップ協定調
印を実現することができました。

訪問の際はコルベール高校の先生方と
生徒たちから大歓迎を受け、校内見学、
昼食交流、市内視察、美術館見学や夕食
会など様々なおもてなしをしていただき
ました。

映画研究部フランス班は4月から新し
いメンバーを迎え、フランスとの共同制作
を継続しております。今年度は、コルベ
ール高校から生徒を東京へお迎えするとい
う計画も進んでいるところです。

私自身卒業生ですので、工芸高校が国
際的にも受け入れられ、生徒たちの活躍
の場が広がっていくことを嬉しく思います。
同窓会の皆さまからの御支援に深く感謝
申し上げますとともに、今後の活動も温
かく見守っていただけますようよろしく
お願い申し上げます。



KOGEI-Tokyo
COLBIET-Paris

工芸-コルベールパートナーシップ・
ロゴマーク（日仏デザインコンペ・グランプ
リ作品）／2023年度工芸高校デザイ
ン科卒業生作

日本全国配送できます！

・工業品・紙製品・美術品

・定期便・時間指定便・緊急スポット便

・保冷・加温配送（-25℃～+40℃）

・イベント・個展の作品の保管から搬入等

基本的にチャーター便と呼ばれる
車丸々1台貸し切りでお運びいたします。
一般配送より割高ですが混載しないので
安心・安全・時間厳守に
お運びすることができます！



株式会社誠和トラスト
担当M科2014年卒 藤岡俊平

お電話でのお問い合わせは 090-1844-5425（藤岡直通）
メールでのお問い合わせは s-fujioka@seiwa-trust.co.jp
こうげいを見たとお伝えいただけますとスムーズです。

HPの専用フォームから
ご連絡いただくことも
可能です！



能登半島地震お見舞い金報告
同窓生の皆様に「ご協力をお願いをして
まいりました」令和6年能登半島地震『お
見舞金』募集」は、7月31日に締め切り
したので「ご報告させて頂きます。
・募金額 ￥187,000-
お見舞金は被災された同窓生皆様に贈
呈いたしました。ご協力いただきました
皆様ありがとうございました。

校友の活躍

第46回日本新工芸展

2024年5月12日-18日

東京都美術館

校友4名が出展されました。

・田中照一氏（1964年・A卒）



『内包』

・尾澤勇氏（1982年・A卒）



『雲海-2024早春-』

学生選抜展部門

・春間愛麗氏（2024年・A卒）



『水神』

・奥野ちづき氏（2024年・A卒）



『おめざめ犬』

第64回東日本伝統工芸展

2024年5月22日-27日

日本橋三越本店

校友4名が出展され、大沼千尋氏が奨励賞を受賞されました。

・大沼千尋氏（1970年・A卒）

奨励賞受賞



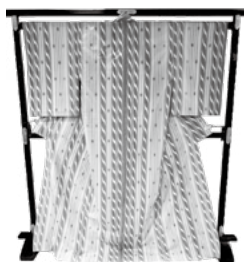
『接合花器「YOROT」』

・田口壽恒氏（1959年・A卒）



『鍛籠銀舟形面取鉢』 遺作
人間国宝

・鈴木ゆき子氏（1974年・D卒）



『紬織着物「柳は緑 花は紅」』

・松原伸生氏（1984年・D卒）



長板中形着尺
「変わり格子文」
人間国宝

第70回創型展

2024年5月21日-27日

東京都美術館

校友3名が出展されました。

・渡邊賢二氏（元M科教員）



多聞天



竜と稲妻

・神山智子氏（1972年・D卒）



拈華微笑

・小荒井寛美氏（2007年・M卒）



蓮華菩薩立像

第52回伝統工芸日本金工展

2024年5月18日-16月29日

石洞美術館

校友5名（故人1名）および21+部門に7名が出展されました。

・桂 盛仁氏（1964年・A卒）「白鷺盒子」・大沼千尋氏（1970年・A卒）「接合せ扁壺」・佐藤充俊氏（2005年・A卒）「龍銀打出蓋物「五月雨」」・氏家幽水氏（2010年・A卒）「南鐙打込象嵌香炉」・黒鼠蛇」・田口壽恒氏（1959年・A卒）「鍛籠銀鉢」 遺作

21+部門

坂口美月氏が金工部会賞を受賞されました。



銅鍛金「悪童」

・坂口美月氏（2018年・A卒）

・村井洸太氏（2020年・A卒）銅打出象嵌ブローチ「だるま」・池田力斗氏（2024年・A卒）銅彫金「陣笠面頬」・石川いづみ氏（2024年・A卒）「はに子」・大西ふう佳氏（2024年・A卒）「花器」・鈴木楓藍氏（2024年・A卒）「徒花の冠」・豊田こゆき氏（2024年・A卒）銅彫金置物「空蟬」・藤井奏空氏（2024年・A卒）「春」

（2024年・A卒）「春」

校友の活躍

君島昌之先生 講演会「近代デザインの足跡を訪ねて」続編「」報告

2024年8月24日(土)、工芸1F視聴覚室にて君島昌之先生の講演会が本校協力のもと同窓会主催で開催され、デザイン科卒業生を中心に学校関係者等140名が出席しました。



君島先生はご自身が執筆者に名を連ねる教科書『デザイン史』の口絵に掲載されている先生撮影の赤い家やカールスブラッツ駅等を紹介し、撮影

した当時の思い出を現地の人々との交流等を交えてお話になりました。先生に教えを受けた卒業生にとっては当時の授業を思い起こさせる懐かしい講演となりました。出席者には永井裕明さん(1976年・D卒)が装丁をデザインした小冊子が記念品として贈呈されました。

講演会の後は近隣の会場で君島先生の教え子等が集まり、先生の傘寿を祝う懇親会が催され、旧友が一堂に会し和やかな雰囲気の中で交流を深めました。

「The last child for Stained Glass」

1993年旧校舍最後の卒業生がLIVE開催

8月31日、工芸高校すぐ側のライブハウス水道橋Moodsにて1993年卒業生のバンドのライブイベントが開催されました。現役のプロ、趣味、楽器演奏が卒業以来など経験値



は様々、科もA、M、F(I)、DのOB・OG混成の昨年スタートした同級生バンド。在学時の工芸祭の講堂ライブから音楽が繋いだ

同級生の縁が、30年後の宴となりました。

会場は立ち見が出るほどの超満員、同級生7人による演奏は、90年代当時の曲がメインの思い出と聞き応えたつぶりの構成。メンバーが作詞した曲では旧校舎で過ごした日々が「課題「緑ジャージ」「ロン毛」などの懐かしい歌詞と共に、在学時の日常の写真とあのステンドグラスもスクリーンに映し出されました。パワフルなボーカルとグルーブ感溢れる演奏、掛け声と共に笑いの絶えない二時間でした。

(撮影)福島志朗

クラス会

QRコードからホームページの記事をご覧ください

2013年度I科卒クラス会報告

2023年12月末、恵比寿にて担任・

青柳先生を囲んでクラス会を開催しました。恩師からの呼掛けに27名が楽しいときを過ごしました。先生から皆に贈り物もあり、高校



の頃に戻ったような気持ちになり皆様に感謝いたします。



1989年卒、F科同窓会報告

担任の青柳先生を含めて参加者は13名。仕事や身体の事・家族の事・現在子供が



工芸生と言うユニース。卒業して35年近況報告が続きインテリアの道に進んだ人、



違う道に進んだ人どちらも工芸で学んだ事が役立っていると話題が途切れぬままお開きになりました。

デザイン科OB・OG展示開催中

9月28日(土)より来年3月後半までの約半年間、母校OB・OG展示ギャラリーにてD科の展示が行われています。

出展は、S59 松原伸生さん・H5 水口咲さん・H16 生水真人さん・H20 正田冨佳さん・H21 藤田明さん・H22 金保洋さん・H25 崎山龍晴さん・H27 ちにゆりさん・H28 滝澤千景さん、他1名で合計10名です。

様々な業種に携わるOB・OGの活躍の様子を是非ご覧ください。



一階 卒業生展示ギャラリー 展示風景

110年を超える歩み もっと知りたい都立工芸の歴史

スポーツや文化的な行事をともに楽しみ友情を深めてゆく校友会活動は、先生と生徒にそれぞれの思い出を残している。昭和4年、この年から生徒控室に舞台を作り文化祭のように劇、合奏などで1日を楽しく過ごす校友会大会が開かれるようになった。隣の桜蔭高等女学校にスパニッシュ瓦を葺いた綺麗な校舎が完成したのもその頃だった。

第7回 スポーツも文化もすべて生徒が事業決定

○校友会は自治活動

1930年（昭和5）、現在の生徒会にあたる校友会の予算会議が全校職員、生徒の傍聴する公開の場で開かれた。以後、予算総会というものが毎年開かれるようになり、校友会の部長、副部長の二人がリーダーとなって自治的な運営をしていく。先生は部監となって一歩後ろへ退き、生徒自らを律する「生徒申し合わせ」も毎年、生徒だけで決めた。

これが校歌に歌われた「根ざしも固き自治の国」の実質となって育っていく。推進したのは生徒を信頼した近藤校長であった。

校友会費は月謝とともに毎月納め、主として部活動、合宿費、機関誌『IA』の発行、校友会大会（劇や合奏などの文化祭）、講演会、展覧会などに使われた。

○第二・第三本科の校友会活動（夜間部）

第二本科、第三本科でも本科と同様の自治的な校友会活動が行われていた。昭和12年の記録を見ると、本科と同様総



剣道部(昭和17)中央は渡辺先生(「都立工芸100年の歩み」p.85より)

務部が置かれ、会の全体の運営に当たり、図書部・編集部・研究部・野球部・卓球部が置かれている。当時の編集部は本科の編集部に参画して『IA』の発行にたずさわっていたが、独立を希望して昭和13年2月第二、第三本科合同の機関誌『工藝』を創刊した。

○多彩な課外活動

スポーツや文化的な課外活動は部をつ

くって行われ、部によっては数年で消えたり、復活したり、名称が変わったりと年度によりさまざまだった。

以下は戦前の主な部活動である。

・総務部・編集部・図書部・絵画部・写真部・書道部・相撲部・野球部・庭球部・卓球部・剣道部・水泳部・山岳部・園芸部・競技部（バレーボール、バスケットボール、陸上競技）・音楽部・研究部など。

文化活動の部も初期には研究部に属し、天文研究会や、詩吟研究会などもつくられた。詩吟は戦中広く流行していた。

○野球部にユニホームを寄贈した

玉田先生

戦時下、教練担当だった玉田千代一先生は第二・第三本科の夜間部校友会に野



昭和13年、玉田先生が第二・第三本科の野球部にユニホームを寄贈してくれた。前列中央は相澤貞治先生、後方左は桜蔭高等女学校(「都立工芸100年の歩み」p.85より)

球1チーム分のユニホームを私費で注文し寄贈している。それは「当時、夜間部の野球部にはユニホームが無かった。私自身、いつ出征するかわからなかったの」という心境からであった。

伊東久江（1985年・F卒）

参考文献・図版出典『工芸学校80年史』『都立工芸100年の歩み』

技術資料の制作

取扱説明書
マニュアル
翻訳
テクニカルイラストレーション
3D
音楽
通販

PLANNING CENTER
STATION.M
有限会社ステーション.エム

Instruction manual
Service Manual
Translation
Technical Illustration
3D
Music
Mail-order selling

有限会社 ステーション・エム
代表取締役 細江 邦雄(M41)

本社 〒162-0828 東京都新宿区袋町25細江ビル
電話 03-6280-8455 FAX 03-6280-8456
<http://www.station-m.co.jp/> e-mail: hosoe@station-m.co.jp

事務局より

一般寄附ご芳名

4月1日以降7月31日まで、「ご芳志をお寄せいただいた方々は次の通りです。」

・寄付金額 40万1500円

ありがとうございました。

(順不同、敬称略)

内山孝、岩崎龍二、神藤一夫、駒村武夫、大須賀崇浩、大須賀崇浩、稲垣雄三、芦沢良雄、宮崎忠夫、羽切美代子、平野亮久、石川孝史、茂野勝、田島悌彦、矢ヶ崎敏和、飯沼勲、宮崎忠夫、五十嵐賢治、高橋健、河合泰雄、塩田廣恵、丸山士郎、柿坪英志郎、松原宏二、七條政輝、原典生、間中辰男、齊藤誠、馬場和夫、中代源次郎、浦野至誠、関根伸司、渡部なお、中村保弘、遠藤裕美、鈴木陽子、佐藤幸夫、春山文典、矢吹郁雄、神山隆夫、鈴木幸男、杉本弥和子、津田友政、山田栄二、大野武夫、岡村正三、浅井将治、大塚晃啓、永野間輝久、荒井拓哉、久保木秋徳、久保木聖子、井上正治、岩井昌代、岩花幸信、安富典忠、松本七五三吉、砂口政範、永島利一、高橋裕次郎、大井正五、井部早苗、市原博信、恩田勝正、相原幸一、米田良二、佐藤貴志、川原木征勝、杉原由美子、古木嘉雄、湯沢宋江、梶広幸、池田正弘、山崎晴美、高田宏樹、内山孝、渡辺隆司、野口桜、愛甲喬、斎藤慧、

山崎邦夫、杉本勉、佐竹進、藤田喜代子、生貝文人、今井定義、堀越敏晴、前田竹明、阿部達夫、鶴岡保、松岡道夫、関口信幸、服部真澄、清水雄一、中村勇人、三橋宏之、能登崇行、上島恵子、佐藤充俊、宇井維久美、中嶋牙子、佐藤理生、藤本威、加藤勝久、林秀雄、桂剛、高橋正文、遠藤龍、新井徹夫、田中秀、木下幸秀、松井辰弘、南繁三郎、青山正男、金井昭三、小林朗、森實、田丸勝秋、林正二郎、細江邦雄、篠宮秀雄、戸村正二、籠谷雅博、荒井彰一、尾崎光雄、渡辺昌平、井戸健輔、麻生美郷、明治香保里、亀井格一、西井和男、宮内捷、萬羽進、森谷延周、坂巻謙一、鍋島節子、児玉正子、保科和夫、鈴木宣喜、宇都木邦明、吉田光男、木崎雅江、須田賢司、神山(田上)智子、武田和之、松富壽嗣、村上由香子、三枝安梨沙、澤木武雄、橋本恵光、畑中ひと美、飯塚邦雄、佐々木正和、奈良場友彰、池田誠一、小宮滋、島田基正、内田一雄、矢島三男、吉野香恵、鹿野伸子、大林眞理子、三田市康男、大野早苗、菊地和浩、仲波由美、山岸政彦、村木邦子、塩田真梨奈、大島耀、山本知二、大橋新介、斎藤シズエ、石井三樹郎、渡辺一孝、山田敏雄、井上伸行、地濃正明、旦保花瑛、吉田積人、中山こはく、大澤章男、丸山光雄、安藤孝久、太田公平、伊崎憲利、篠宮秀雄、三保谷卓生、中村高久、松下治正、今野健三、渡辺義太、甲賀真人、小林衛亮、綿谷佳泰、片桐寛

人、石倉孝、鈴木良武、池野赫夫、田辺廣、福田友美、工藤精一、松本実、平井清美、伊東久江、伊藤聖樹、桑原満、其田卓三、後藤玖、福家海人、永田忠史郎、中島隆、襟川英利、村尾隆、畑中ひと美、亀井正弘、嘉藤浩一、伊藤光夫、穴吹昭勝、松村金太郎、杉浦俊和、多田洋一、大洞健史、浅岡輝彦、池田修一、小泉弘、井上文雄、福田哲夫、福島彰生、山田康幸、千明敏浩、斎藤文仁、古谷芳、梧沢知里、白木快侑、里見伸暁、大島耀、佐藤駿斗

訃報

前回の会報(183号)以降、本会宛正式にご連絡ありました方々は、次の皆さまです。ご冥福をお祈り申し上げます。

() 内は逝去された日です。

大谷親茂	旧職員	(R 6.4.30)
酒井 寛	S 20 A 卒	(R 6.3.24)
原 和男	S 27 M 卒	(R 6.2.23)
竹野義明	S 30 A 卒	(R 4.8.4)
大竹資次	S 31 M 卒	(R 2)
大坪 城	S 32 M 卒	(R 5.1.15)
水谷龍吉	S 32 M 卒	(R 2.2.1)
後藤康男	S 32 F 卒	(R 5.11.13)
深井静一	S 33 M 卒	(R 4.5.10)
綱島康弘	S 33 P 卒	(R 1.7.5)
石原健二	S 34 F 卒	(R 6.3.6)
間瀬博司	S 36 M 卒	(R 6.4.4)
成瀬博康	S 36 P 卒	(R 5.10)

内田建夫	S 37 A 卒	(R 6.4.18)
打越長武	S 37 D 卒	(R 5.11)
平野佐和子	S 37 D 卒	(H 30.4.23)
佐々木昭三	S 41 M 卒	(R 5.11.10)
鈴木康裕	S 43 M 卒	(R 6.3)
堀川文二郎	S 44 M 卒	(R 6.1.1)
木本義雄	S 45 A 卒	(R 5.12)
山川あけみ	S 50 P 卒	(R 5.9)
田中祈愛	R 2 G 卒	(R 6.3.6)

医療機器の分野で「世界初」の取り組みを始めています。



「人の未来へ、暮らしに役立つものづくり」を信条としてきた私は、いま新たに医療機器分野への挑戦を決意。その第一歩として開発した製品がディスプレイ電極です。QRコードからご覧いただくことができます。同窓生のみならず、ご興味があれば私と一緒に新たな事業にチャレンジしてみませんか？

第14期 都立工芸高校卒

代表取締役 駒村武夫

SOFKEN ソフケン

株式会社

047-498-1111 www.sofken.co.jp/

母校だより

全日制3年インテリア科

「若年者ものづくり競技大会」で銀賞！

7月31日（水）～8月1日（木）に、

群馬県高崎市「Gメッセ群馬」において、

「若年者ものづくり競技大会」が開催されました。この大会は、20歳以下の若年者を対象とし、高校生だけでなく大学生や技術専門校の生徒も出場しま



選手競技風景

す。このような大会で、3年1科・今村日向さんが「木材加工」職種に出場し、見事に銀賞（全国第2位）への入賞を果たしました。

工芸ねぶた 屋外での運行は初！

「第1回柏の葉T・SITEねぶた祭」に出陣

7月20日（土）～21日（日）、千葉県

柏市「柏の葉T・SITE」にて、定

時制ねぶた造形研究部における「工芸



「第1回柏の葉T・SITEねぶた祭」行燈一行

ねぶた」が運行されました。本研究部では、毎年1台のねぶた制作をメインに活動し、ねぶた本体の制作の他、ねぶた技法を生かした造形の制作や各種イベントへの参加や協力、ワークショップ等を行っています。また、外部イベント、近隣とのコミュニティや舞台美術としてのねぶたの連携等、幅広く活動をしています。

定時制バドミントン部 全国大会出場

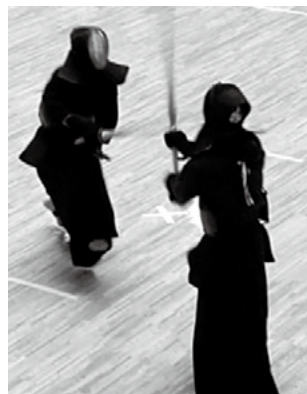


全国大会出場の様子

7月29日（月）
～8月1日（木）
までの4日間、
神奈川県小田
原市の小田原
市総合文化体
育館「小田原

アリーナ」において開催の「第26回全国高等学校定時制通信制体育大会」に、東京代表として、団体戦へ出場しました。

定時制剣道部 全国大会3位入賞



全国大会出場の様子

8月5日（月）、日本武道館において開催の「全国高等学校定時制通信制体育大会 第55回剣道大会」に本校生徒2名が団体戦の東京都代表選手として出場しました。成績は、東京都Aチームとして3位に入賞しました。

コンペ・大会・コンクール入賞

全日制

■INTERIOR

・第18回 高校生ものデザインコンテスト[クラフト部門]優良賞:2名、奨励賞:1名、[インテリアデザイン部門]優秀賞:1名、優良賞:3名

・第19回 若年者ものづくり競技大会[木材加工職種]銀賞(全国大会第2位):1名

■DESIGN

- ・(冊子)『都立高校に入学を希望する皆さんへ』(教育庁) 裏表紙採用:1名
- ・令和6年度学校要覧 表紙採用:1名
- ・令和6年度 文京区社会を明るくする大会 ポスター原画採用:1名、チラシ原画採用:1名
- ・都立工科高校ドリーム・フェスタ2024(教育庁) ロゴ採用:1名
- ・第12回文京・見どころ絵はがき大賞 文京建築会ユース賞:1名、テーマ賞(文京の風):1名、作品賞:1件、団体賞:1件
- ・拓殖大学工学部 ORANGE CUP 2024 優秀賞(グループ):1件、準優秀賞(グループ):2件、入選(グループ):2件、審査員特別賞(グループ):1件
- ・消防船PRコンテスト 審査員特別賞:1名

資格取得・検定合格

■MACHINE CRAFT

- ・計算技術検定(公益社団法人全国工業高等学校長協会)3級合格:19名
- ・機械製図検定(公益社団法人全国工業高等学校長協会)合格:9名
- ・ジュニアマイスター(公益社団法人全国工業高等学校長協会)ゴールド合格:4名、シルバー合格:4名
- ・パソコン利用技術検定(公益社団法人全国工業高等学校長協会)2級合格:22名

■INTERIOR

- ・基礎製図検定(公益社団法人全国工業高等学校長協会)合格:31名
- ・第96回 建築CAD検定試験(一般社団法人全国建築CAD連盟)2級合格:12名、2級「優秀団体賞」受賞
- ・第97回 建築CAD検定試験(一般社団法人全国建築CAD連盟)2級合格:1名、4級合格:17名
- ・レタリング技能検定(文部科学省後援 公益財団法人国際文化カレッジ)合格:28名
- ・ジュニアマイスター(公益社団法人全国工業高等学校長協会)ゴールド合格:4名、シルバー合格:1名、ブロンズ合格:4名

■DESIGN

- ・レタリング技能検定(文部科学省後援 公益財団法人国際文化カレッジ)2級合格:2名、3級合格:33名、
- ・CGクリエイター検定(公益財団法人画像情報教育振興協会)ベーシック合格:1名

定時制

■ART CRAFT

- ・第25回高校生国際美術展[美術の部] 東京都知事賞:1名
- ・パソコン利用技術検定2級:合格3名

■MACHINE CRAFT

- ・3級機械検査技能検定合格:6名
- ・機械製図検定(公益社団法人全国工業高等学校長協会):3名、
- ・ジュニアマイスター(公益社団法人全国工業高等学校長協会)ブロンズ合格:4名

■INTERIOR

- ・レタリング技能検定(文部科学省後援 公益財団法人国際文化カレッジ)3級合格:1名
- ・ものデザインコンテスト[クラフト部門]最優秀賞:1名、[インテリアデザイン部門]奨励賞:1名、優良賞:2名

■GRAPHIC ARTS

- ・(冊子)『東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ』(教育庁) 採用:1名
- ・拓殖大学工学部 ORANGE CUP 2024 最優秀賞:1名、審査員特別賞:2名、入選:6名
- ・第12回文京・見どころ絵はがき大賞 作品賞:1名

2024年度「工芸祭」

10月26日（土）・27日（日）の2日間、

工芸祭が母校で開催予定です。

詳細は都立工芸高等学校 HP をご覧ください。

都立工芸同窓会会報 | こうげい No.184

発行者: 藤岡俊平 編集: 梶広幸、神山隆夫、磯野祥、伊東久江、堀口邦枝 デザイン: 中村陽道 印刷所: 大東印刷工業株式会社
発行: 都立工芸同窓会 〒113-0033 文京区本郷1-3-9 都立工芸高等学校内 事務局: 神山隆夫、磯野祥
ご連絡などはホームページの「お問い合わせ」欄からお願いいたします。

<https://www.kogejob.com/contact>

